

かわまた

No.155

平成27年11月1日発行
福島県川俣町議会

議会だより

いち、に、
さん、し!

南幼稚園運動会



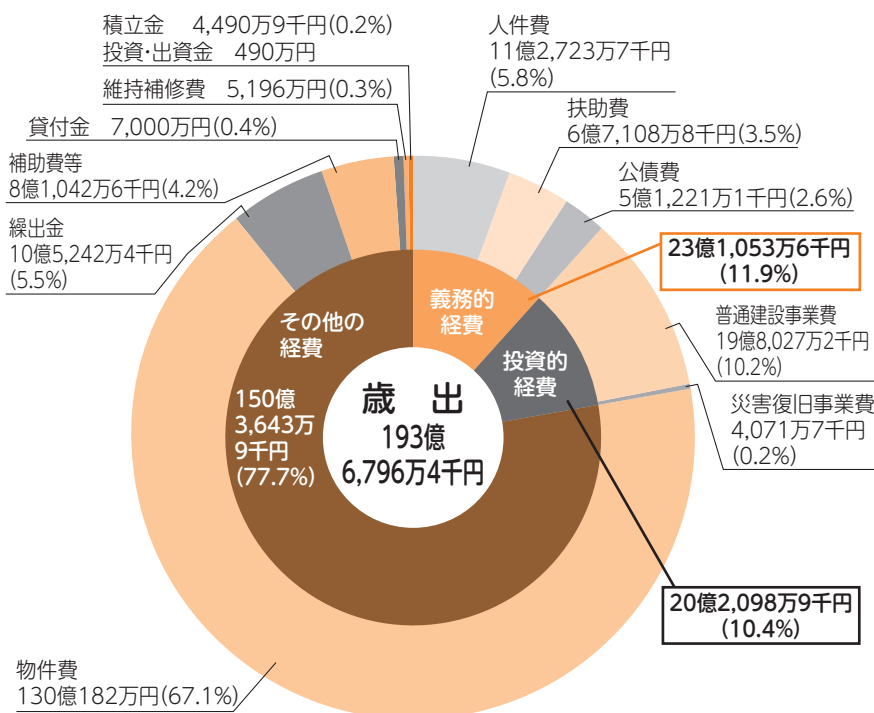
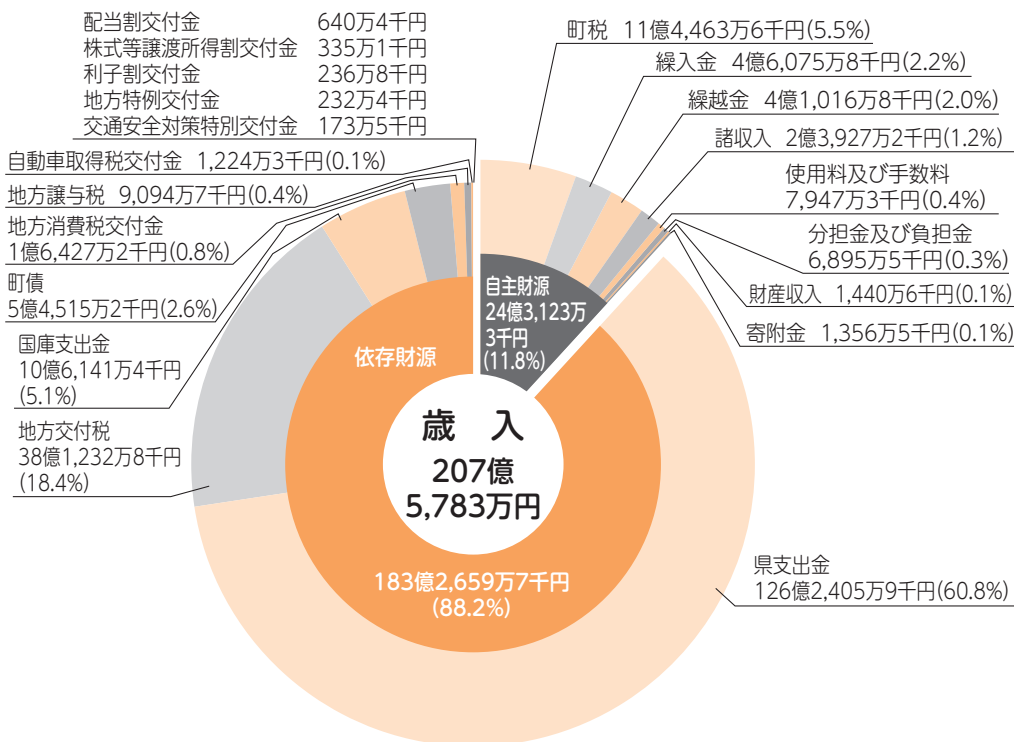
26年度各会計決算を認定
(9月定例会)

..... 2

決算審査特別委員会報告	6
町の課題を問う(一般質問)	10
抗議活動・臨時会	19
委員会の活動報告	20
庁舎建設特別委員会報告	22
町民の声	24

決算を認定

9月定例会は9月3日から18日までの16日間の会期で開催され、補正予算や人事案件、平成26年度各会計の決算等について提案があり、審議しました。
特に平成26年度各会計決算については、決算審査特別委員会を設置し、集中して審査を行い特別委員会として報告書を取りまとめました。



また、一般会計決算において、当初、決算付属資料「成果の概要」に平成26年度に町を揺るがした商工会補助金不正受給問題についての記載が一切なく、町当局から二度の訂正申し出があり、3日間にわたり審議しました。
なお、一般質問は9人が登壇し、町政全般について当局の考えを質しました。

平成26年度各会計

監査委員報告

斎藤庸夫代表監査委員より、決算審査を行った結果、平成26年度の各会計決算については適正に処理されており、財政及び経営の健全性は確保されているとの報告がありました。

決算の質疑

●一般会計

町長提案要旨、成果の概要にも商工会補助金不正受給に関する説明が一切ない何故か。

(高橋道弘議員)

果の概要に追加していきたい。

(古川町長)

決算付属資料に追加し、決算審査特別委員会の前に修正し配布したい。

(企画財政課長)

議事進行

何が提案されるかわからないので、質疑を打ち切り7日に再度質疑を再開すれば良いのでは。

(遠藤宗弘議員)

※7日に再度質疑を行うことになりました。

(訂正後)

質問 商工会補助金不正受給に関することが議会から指摘されなければ記載しなかったのか。

(遠藤宗弘議員)

大変重要な内容であったが欠落してしまつた。お詫びいたします。決して隠ぺいをするつもりはありませんでした。認識が不足しておりました。

(企画財政課長)

質問 成果の概要の総括冒頭に記載すべきではないか。再度訂正すべきである。

(高橋道弘議員)

訂正し決算特別委員会に修正し配布したい。

(企画財政課長)

※翌8日に再度質疑を行うことになりました。

(再訂正後)

質問 商工会への中小企業復旧復興支援事業委託料を4月1日に遡って契約できる根拠は何か。

(高橋道弘議員)

財務規則上は不適切ですが、4月1日に商工会では雇用していた。やむを得ず支出しました。

(企画財政課長)

県の緊急雇用事業は町が県に申請しなかった。財務規則上ない事を支出して良いのか。

(嶋原利光議員)

今後このようなことのないようにいたします。

(古川町長)

●国民健康保険特別会計

質問 町民税等は徴収率が上がったが、国保税は下がったのは何故か。

(高橋道弘議員)

理由について分析はしておりません。

(町民税務課長)

●奨学資金特別会計

質問 償還未収入額75万5千円と前年度より増加した理由は何か。

(高橋道弘議員)

就職先等が決まらずに返還が滞っておる者がおり、現在相談中であり

ます。

(教育次長)

●工業団地特別会計

質問 一般会計への繰出金の根拠を示して下さい。

(高橋道弘議員)

中山工業団地のアサヒ通信からの賃借料から除草費等を引いた残りの金額を一般会計に繰り出してあります。

(産業課長)

●大綱木財産区特別会計

質問 大綱木財産区は近年予算はつくが何もやらないという現実であるが今後の見通しは。

(高橋道弘議員)

資金が不足しているのは事実であります。財産区管理会と一度は解散という話がありましたが、公社造林が東電賠償の対象に入ったので、その推移をみて判断していきたいと考えております。

(総務課長)

9月定例会

●山木屋財産区特別会計

質問 財産区保有の森林は東電賠償の対象になるのか。(高橋道弘議員)

答 避難区域とそれ以外の森林では賠償に差があるものと理解しております。(総務課長)

質問 山木屋財産区以外は森林火災保険に入らないのか。(新関善二議員)

答 現在は山木屋と飯坂財産区が加入しています。他の財産区については管理会と財源も含め検討していきます。(総務課長)

●水道事業会計

質問 その他の特別損失の内訳は。(高橋道弘議員)

答 賞与引当金、法定福利費引当金、貸倒引当金です。(建設水道課長)

決算の討論

●一般会計

反対

決算審査特別委員会から23の指摘事項が報告されているが、中には看過できない事項が①緊急雇用の町費持ち出し、②復興発電会社の位置づけ、③二世帯居住施設の光熱費負担、④商工会補助金不正受給の問題、以上4点ありますので私は平成26年度一般会計決算を不認定すべきと考えます。(高橋道弘議員)

採決

採決の結果、起立多数で認定となりました。

賛成した議員

高橋真一郎 高橋 道也
斎藤 博美 菅野意美子
新関 善二 菅野 正彦
五十嵐謙吉 高野善兵衛
石河 清 遠藤 宗弘
以上10人
反対した議員
村上 源吉 高橋 道弘
嶋原 利光 菅野 清一
佐藤喜三郎 以上5人

条例の改正

●個人情報保護条例の改正

質問 審査会の開始日程が増加すると思われるが予算措置の必要はないのか。(高橋道弘議員)

答 当初予算に計上しております。(総務課長)

質問 マイナンバーカードのいらぬ人は町に返却できるのか。(遠藤宗弘議員)

答 カードを作らない人は通知を保存しておくことが出来ます。(総務課長)

質問 DV、ストーカー等被害防止のための受付はどうなっていますか。(嶋原利光議員)

答 現在申請の受付を行っています。(町民税務課長)

特別会計等の決算額

名 称	歳 入	歳 出	収 支
国民健康保険特別会計（事業勘定）	17億4,901万9千円	16億5,016万2千円	9,885万7千円
国民健康保険特別会計（診療施設勘定）	1,965万3千円	1,965万3千円	0円
介護保険特別会計	17億9,683万6千円	17億3,026万6千円	6,657万円
後期高齢者医療特別会計	1億6,623万6千円	1億6,540万5千円	83万1千円
簡易水道事業特別会計	1,049万1千円	852万3千円	196万8千円
奨学資金特別会計	3,072万6千円	3,072万6千円	0円
工業団地造成事業特別会計	3億355万7千円	3億355万7千円	0円
小島財産区特別会計	492万円	11万6千円	480万4千円
飯坂財産区特別会計	837万2千円	23万3千円	813万9千円
大綱木財産区特別会計	22万3千円	8万3千円	14万円
小綱木財産区特別会計	125万1千円	8万4千円	116万7千円
山木屋財産区特別会計	15万円	8万9千円	6万1千円
	事業収益	事業費用	経常利益
水道事業会計	2億7,692万3千円	2億2,397万3千円	5,295万円

●町営住宅条例の改正

質問

災害復興住宅の募集はいつから始めるのか。
(高橋道弘議員)

答

本条例改正可決後速やかにと考えています。
(建設水道課長)

質問

入居はいつからになりますか。
(菅野清一議員)

答

平成28年6月完成、8月入居を目標にしています。
(建設水道課長)

質問

家賃の補助はあるのか。
(村上源吉議員)

答

国の家賃低減化事業を利用して家賃の低減化に努めます。
(建設水道課長)

予算の補正

●一般会計

質問

震災復興特別交付税は何の事業の財源になりますか。
(高橋道弘議員)

答

ため池放射性物質対策業務委託料になります。
(企画財政課長)

質問

井戸掘削工事は1本あたり300万円もかかるのか。
(遠藤宗弘議員)

答

50m掘削で1箇所354万2千円を見込んでいます。
(原子力災害対策課長)

質問

計画的に幼稚園を運営しているのか。
(高橋道弘議員)

答

計画は出来ているが、現在、町機構改革策定中のため公表できる段階ではありません。
(神田教育長)

質問

28年度末で南幼稚園が廃止になるのは決定事項ですか。
(村上源吉議員)

答

5年間の統廃合案に入っております。
(神田教育長)

質問

園舎等施設改修工事は3歳児を受け入れるための工事というが3歳児保育は必要なのか。
(嶋原利光議員)

答

教育委員会では子ども子育て計画により、また保護者からの要望を受けて実施する予定です。
(神田教育長)

質問

町が企業誘致や若者定住対策を推進している中、南幼稚園の廃園計画は決定事項ですか。
(村上源吉議員)

補正予算の主な内容

- 除染対策事業費
43億5,280万8千円
- 井戸掘削工事費
4億7,888万8千円
- ため池放射性物質対策費
8,579万5千円
- 個人番号カード交付事業費
563万1千円
- 道路新設改良費
(鶴東・鉄炮町線、町道中島・諏訪線)
6,376万円
- 川俣南小学校体育館解体設計業務委託料
153万4千円
- 園舎等施設改修工事費
761万1千円

画は施策に逆行するのではないかと。
(菅野正彦議員)

答

原発事故以降町の出生数が下がった。効率的な運営を考えれば町内5園あるのは財政的にも問題が生じる。今後、総務文教委員会と協議していきたい。
(神田教育長)

人事案件

●個人情報保護審査委員会委員

次の方の再任について同意しました。なお任期は平成27年10月1日から平成29年9月30日までの2年間で。

- 澤田由紀子氏 字鉄炮町
- 佐野孝治氏 福島市松波町
- 佐藤初美氏 福島市中町
- 菅野幸子氏 大綱木字折橋
- 佐藤尚子氏 小神字田代内

●教育委員会委員

次の方の再任について同意しました。なお任期は平成27年12月20日から平成31年12月19日までの4年間で。

- 後藤由美子氏 字五百田

委員会条例の改正

議員定数の削減等に伴い、議会の組織構成が次期任期(平成27年11月20日)から変更になります。今まで3つあった常任委員会が「総務産業常任委員会」と「厚生文教常任委員会」の2つになります。

また、特別委員会として3月と9月に設置していた、予算委員会と決算委員会がそれぞれ常任委員会となります。さらに、議会だより編集委員会「広報編集常任委員会」となります。

平成26年度 川俣町各会計決算審査 特別委員会審査報告

名 称

平成26年度川俣町各会計決算審査特別委員会

目 的

全議員が、住民に対し決算について説明責任を果たすために、所属常任委員会の枠にとらわれず、広範に理解を深め、町政の課題に対応した決算の検証と政策提言を実現すべく設置した。

構 成

14名

(議長及び議会選出監査委員を除く全議員)

●委員長 遠藤 宗弘
●副委員長 菅野 正彦

審 査 結 果

平成26年度川俣町各会計決算審査特別委員会審査報告

平成26年度川俣町各会計決算13件につき、9月10日から17日までの8日間各課単位に審査を行う

平成26年度川俣町各会計決算審査特別委員会審査日程表

日数	月日(曜)	時 間	審 査 課 等
1	9月10日(休)	10:06～14:28	企画財政課
2	9月11日(金)	10:00～14:58	原子力災害対策課、会計室、議会事務局
3	9月12日(土)		休会
4	9月13日(日)		休会
5	9月14日(月)	10:00～14:25	企画財政課、産業課、町民税務課
6	9月15日(火)	10:00～15:28	企画財政課、保健福祉課、建設水道課
7	9月16日(水)	10:00～14:59	こども教育課、生涯学習課、総務課、選挙管理委員会
8	9月17日(木)	10:00～12:02	総括、討論、採決

た。その結果、各課に対する意見、要望、指摘事項等、主な審査概要は次のとおりである。



決算審査特別委員会の様子

総務課

① 臨時職員等の賃金体系（社会保険の有無）については、各課によって差があるので総合的に検討すること。特に、シルバー人材センターへの業務委託については業務内容にあった雇用形態に改善すること。

② 自治会は行政の下部組織ではないので多くの業務を依頼することは避けるべきである。また、未加入、休止、脱退等の問題が発生しているので、組織のあり方等についても検討すべきである。

③ 交通安全母の会への補助金支出について、町直接と交通対策協議会を経由しての間接補助があるが後者の方法は好ましくないので改善すべきである。

企画財政課

① 成果の概要に当初、平成26年度に町を揺るがす刑事・民事事件に

も発展した、商工会補助金不正受給問題の記載が一切なかった。

② 指導的立場にある企画財政課の契約発議書に決裁日等の未記入が多かったので記載すべきである。

③ 復興発電合同会社の増資については、選定に疑義が生じ、公募の際、復興事業を実施している町内の業者が排除された。その段階では町が100%出資しているのにも関わらず、審査の過程が議会に公開されない。また、会社の位置づけについても民間会社が第三セクターか早急に解決すべきである。

原子力災害対策課

① 町内帰還を考えている避難者への具体的な対応策を講じること。

② 自家用野菜の放射能測定検査は効率的に行うため1箇所に集約すべきである。

③ 井戸掘削工事について発注方法の検討を含め、

早期に着工すること。

会計室

① 資金の運用については、高利回りの国債購入を検討すること。

議会事務局

特になし。

町民税務課

① 成果の概要には検査の結果も記入すること（避難区域浄化槽点検事業）。

建設水道課

① 簡易水道使用料の滞納については、その公平性からも解消に努めること。

産業課

① 中小企業復旧復興支援事業委託料の支出については、事務の遅延により、県緊急雇用創出基金事業で支出すべき経費が町費の持ち出

しとなった。また、その支出についても6か月以上遡及しており不適切である。

② 農振会活動推進費報償金について8の地区協議会に支払っているが、農振会会長に直接支払うようにすること。

③ 二地域居住飯坂体験施設の光熱費は、他の避難者との公平性から居住者に負担させるべきであった。

④ ㈱まちづくり川俣の運営のあり方、支援策等について早急に検討すべきである。

保健福祉課

① 成果の概要に記載されている事業については説明できるようにすること。

② 病院群輪番制については福島市を含めその体制を関係自治体と協議すること。

③ 災害発生時の民生委員の協力体制を早期に構築すること。

④ 障害者福祉事業については実績を踏まえ、

制度の周知方法を検討し利用の促進を図ること。

こども教育課

特になし。

生涯学習課

① 子どもの屋内運動場の運用については、他事業の実施等、利用方法を検討すること。

② 成人式の実施については、成人者の愛町心を高めるよう、予算を含め再検討すること。

③ 原発事故後、農村広場が仮設住宅用地となつたため、屋外スポーツをするグラウンドが不足しているのその確保策を検討すること。

まとめ

平成26年度の各会計の決算においては、災害からの復旧復興関連事業に取り組んだが、予算化した事業が執行されていないなど繰り越しが目立った。

本来であれば、成果の概要に記載すべき商工会等の返還金がまったく記載されておらず、町の体制及び認識が懸念されるところである。成果の概要の作成においては、単なる事務

結果の報告のみならず、しっかり分析の上、今後の事業遂行に役立てるべきである。

また、課によっては、決算審査を受ける体制が全く整っておらず回答に時間を費やす事態が生じた。審査にあたって提案者として事業の内容を熟知して臨むべきである。

平成26年度各会計の決算は認定するべきであると決定した。

議員提案

9月定例会における議員提案は4件で、それぞれ関係機関に意見書、要望書を送付しました。

●平成27年9月関東・東北水害に係る財政支援を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、環境大臣、復興大臣

●平成27年9月関東・東北水害に対する激甚災害指定を求める意見書 提出先 福島県知事

9月10日関東・東北水害に対する 要望書

9月10日から11日にかけての集中豪雨は、当町の宅地、取り付け道路、農地、農業用施設等に土砂災害を中心に多くの被害が発生し、住民生活に大きな影響を及ぼした。

また、平成23年3月の東日本大震災、平成24年4月の暴風、平成26年2月の豪雪と、当町は度重なる被害を受けて、住民は大変な経済的負担を強いられている。

少子高齢化が進むなか、当町においては一人暮らし、年金暮らしが多く、災害復旧に向けて各自鋭意努力しているところであるが、復旧を迅速に行うため下記事項について要望する。

記

- (1) 川俣町宅地関連災害復旧補助事業及び農地、農業用施設災害復旧補助事業の補助率を2/3、補助金上限額を50万にそれぞれ引き上げること。
- (2) 国、県へ激甚災害の指定を受けるように強く要望すること。
- (3) 宅地関連においては、除染作業による竹林の伐採、表土剥ぎ取りのため被害が拡大したのは明らかであるので、環境省へ財政支援を要望すること。

平成27年9月18日

川俣町長 古川 道 郎 様

福島県伊達郡川俣町議会

平成27年9月関東・東北水害に対する 激甚災害指定を求める意見書

平成27年9月10日から11日にかけての集中豪雨は住民生活に甚大な被害をもたらした。

今もなお、多くの被災者の方々は、二次災害や今後の生活等に多くの不安を抱えながら生活をしている。

当町の被害は、9月17日現在、住宅関連305件、町道86件、河川10件、農地・農業施設等187件の総数588件の被害状況である。

当町においても、災害復旧に向けて全力で取り組んでいるところであるが、この甚大な被害に対応することは、町の自主財源のみでは困難であり、国の財政支援が不可欠である。

よって、今回の関東・東北水害に対する被害について激甚災害に指定することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年9月18日

衆議院議長 大島 理 森 様
参議院議長 山崎 正 昭 様
内閣総理大臣 安倍 晋 三 様
財務大臣 麻生 太郎 様
総務大臣 高市 早 苗 様
農林水産大臣 林 芳 正 様
国土交通大臣 太田 昭 宏 様

福島県伊達郡川俣町議会

● 9月定例会請願審査結果 ●

受理番号	付託委員会	件 名	請願者住所及び氏名	紹介議員氏 名	審査結果
3	産業建設 常任委員会	鶴沢字東・柿ノ窪地内の農道の整備等に関する請願書	川俣町大字鶴沢字古堺田42-2 代表 菅野 富雄 ほか9名	嶋原 利光 高橋 道弘	継続 審査
4	産業建設 常任委員会	町道新関前・細越線延長部分の町道認定と改良に関する請願書	川俣町大字小島字細越8 代表 佐藤 潔 ほか4名	新関 善三 高橋真一郎	採択
5	産業建設 常任委員会	八羽内・鍛冶内排水路土側溝改良請願書	川俣町大字鶴沢字鍛冶内41-6 代表 松本 幸雄 ほか14名	高野善兵衛 高橋 道也 嶋原 利光	採択
6	産業建設 常任委員会	古内地区公衆用道路の町道認定と改良に関する請願書	川俣町大字小島字古内15 代表 高木 伸一 ほか7名	新関 善三 高橋真一郎	採択

● 9月定例会陳情審査結果 ●

受理番号	付託委員会	件 名	陳情者住所及び氏名	審査結果
5	厚生 常任委員会	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	福岡県行橋市今井3713-1 小坪 慎也	不採択

9 月 定 例 会 審 議 結 果 (平成27年9月3日～18日)

議 案	件 名	審 議 結 果
第68号	川俣町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第69号	川俣町手数料条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第70号	川俣町町営住宅条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第71号	川俣町町営住宅管理条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
第72号	町道路線の認定について	可決 (全会一致)
第73号	平成26年度川俣町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成10、反対5)
第74号	平成26年度川俣町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
第75号	平成26年度川俣町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
第76号	平成26年度川俣町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
第77号	平成26年度川俣町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
第78号	平成26年度川俣町奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
第79号	平成26年度川俣町工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
第80号	平成26年度川俣町小島財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
第81号	平成26年度川俣町飯坂財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
第82号	平成26年度川俣町大綱木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
第83号	平成26年度川俣町小綱木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
第84号	平成26年度川俣町山木屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
第85号	平成26年度川俣町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定(全会一致)
第86号	平成27年度川俣町一般会計補正予算 (第4号)	可決 (全会一致)
第87号	平成27年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	可決 (全会一致)
第88号	平成27年度川俣町介護保険特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全会一致)
第89号	平成27年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全会一致)
第90号	平成27年度川俣町奨学資金特別会計補正予算 (第1号)	可決 (全会一致)
第91号	川俣町小島財産区管理会委員の選任について	同意 (全会一致)
第92号	川俣町飯坂財産区管理会委員の選任について	同意 (全会一致)
第93号	川俣町大綱木財産区管理会委員の選任について	同意 (全会一致)
第94号	川俣町小綱木財産区管理会委員の選任について	同意 (全会一致)
第95号	川俣町山木屋財産区管理会委員の選任について	同意 (全会一致)
第96号	川俣町個人情報保護審査会委員の任命について	同意 (全会一致)
第97号	教育委員会委員の任命について	同意 (全会一致)